

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1070101181		
法人名	医療法人 中沢会		
事業所名	グループホーム N・Sホーム		
所在地	群馬県前橋市下大島町596-1		
自己評価作成日	平成22年10月30日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-joho.pref.gunma.jp/">http://www.kaigo-joho.pref.gunma.jp/</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利活動法人群馬社会福祉評価機構		
所在地	群馬県前橋市新前橋町13-12		
訪問調査日	平成22年11月25日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

同法人内に3ユニットあり、互いに個性を出し合って向上し合う良い環境が整っている。互いに競い合いながらも時には合同で行事を行い、入居者様にとっては隣組の様な関係が築くことが出来ている。介護支援、食事の提供、外出行事、職員交流、法人内の勉強会など様々なメリットがあるのではないかと思います。本年度、特に重視しているのは自立に向けた排泄援助で、個々の排尿、排便サイクルを知り定時誘導や声掛けを行い、極力紙パンツやパットを使用せず布パンツを使用し、金銭的や環境にも配慮し自立に向けた支援です。又自己決定を尊重し、食事のメニューや外出先など、利用者様間で話し合って頂き、発言や考える事により認知症の改善に向けた援助を行っている。職員間の人間関係も大変良く、互いに協力し助け合いながら勤務することにより、入居者様にも良い影響が伝わっているのではないかと考えています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

機会あるたびに、時事関係の記事などを参考に利用者へ話題提供をして、常に通常の生活環境や考え方の継続を心がける支援を行っている。介護計画作成にあっても、ケアマネージャーは実際のケアを念頭に、事前に本人・家族・職員・看護師等の意見を聞くとともに、週1回の往診結果などを参考に細かい状況の把握に努め、職員が一丸となって支援のできる体制づくりがなされている。また、職員の資質向上を考え、母体の医療機関での各種研修会への参加や事業所内外の研修へ多くの参加機会が設けられ、参加者からは研修結果報告が行われ、職員間の共有化が図られている。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員は理念をいつも念頭に置き、理念にそって従事しています。	理念は地域密着型サービスの意義をふまえた内容であり、3ユニット各々個別のものを作成している。理念は毎朝の引継ぎ等の機会に全員で唱和し、日々のケアの気づきの基本としている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩時に声掛けし、気軽に来て頂ける様にしています。又イベント等がある時は案内を配り、参加して頂ける様にお誘いしています。	自治会に加入するとともに、回覧板や近隣にチラシ配りをして、事業所の納涼祭等の各種行事に地域住民参加を呼びかけている。また、地域で開かれる祭りや敬老会等の行事に招待されるなど、地域との繋がりを深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の民生委員の方等との意見交換を、実施し地域の高齢者様の現状を理解するとともに、発信出来る事は、実施している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回会議を行い家族の方にも、参加して頂き意見に添った行事やサービスを実施しています。	民生委員・市職員・家族等が参加して、2ヶ月毎に3ユニット合同で会場を持ちまわりして開催している。事業所の現状報告をはじめ、地域の状況・市への質問・家族からの要望等、多方面の話し合いがなされ、サービス向上に取り組んでいる。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域で開催される納涼祭に参加し、地元の人々との交流を心がけています。又イベント等に参加、協力を頂いています。	疑問点等を問い合わせているが、特に管理者が機会あるごとに市窓口を訪ね、介護保険内容や現場の取組み方等の話し合いがされている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成しています。声掛けにも注意しケアを行っています。又玄関には鍵をかけたらず安全確保の為に、センサーによるブザーで確認しています。	法人内のケア向上委員会に、各ユニット2人づつの委員を選出し、勉強会等を開催して、身体拘束をしないケアに全職員で取り組んでいる。玄関の鍵はかけずセンサーで確認している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ケア向上委員会を設け、勉強会を2ヶ月に一度行っています。又言葉掛けにも注意し職員間で徹底しています。。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	医療法人中沢会の勉強会において、学ぶ機会を持ち活用しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、退去時ご家族の方に十分な説明を行い、細かい所も理解して頂ける様にお話しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各G・Hの苦情担当者をきめて玄関に苦情箱を設置し、意見を反映しています。	苦情・要望等こそが、事業所改善に結びつくという考えのなか、利用料の支払日などの面会時を利用して、家族等との会話を大切に考えた取組みを実施している。来所できない家族等には電話で利用者の状況等を報告している。	事業所の現状や利用者の状況報告と意見等の聴取には、あらゆる方法を構築し、幅広い意見等が支援の向上に結びつくことを期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、定期的に各ユニットの状況把握を行っています。	全体会議・介護会議・ケース会議等、課題ごとの会議で、職員の意見交換の場が持たれている。運営以外の職員の意見等もユニットリーダーに気楽に相談できる環境が整っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各ユニットの状況を把握し、職員が向上心を持って働ける様に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外の研修がある際積極的に、参加出来る様に日程を組み又併設の病院や、けやき苑の勉強会が月に一度行われているので、積極的に参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の施設の見学・研修の機会を設け行っています。見学・研修後は文章に残し他職員も刺激を受け、サービス向上に取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前訪問を行いご本人の状態を確認させて頂くと共に、ご本人が安心して入居出来る様にお話を伺う等しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会に来られた時にホーム内での様子を詳しくお話しています。又ご家族からの要望等を伺い職員間で、話しあいよりよい関係作りが出来る様に心掛けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に利用される方の状況等の応じた施設等の、サービスを相談検討する様にしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	昔の生活の知恵を教えて頂いたり、料理を作る上でのコツ等沢山の事を学ばせて頂き、暮らしを共にする物同士の関係を築く環境づくりを実施しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	各行事や小旅行、家族会等に参加して頂き悩みをお聞きしたり利用者様が喜び笑顔で一杯になる姿を、共に大切にしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	長年住み慣れた町のドライブを計画したり、親しい人の年始挨拶のハガキ作り等支援しています。	地域の敬老会に参加したり、年末年始は外泊をすすめることや、思い出の土地へドライブに行ったり、家族や友人の訪問を奨励して、馴染みの関係継続の支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立せずレクや会話に参加して頂き利用者様同士が、関われる様に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、いつでも気軽に訪ねて頂ける様にご家族との関係を、大切にしながら必要に応じて相談や支援に努める様にしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来るだけ本人の意志や希望に沿う様努めています。又それぞれの能力が発揮出来る様に援助しています。	事前に、生活歴や趣味を把握すると共に、本人や家族等から「何がしたいか・どうありたいか」など思いや意向をきき、選択肢を示して選んでもらい、日々の生活の活力になるよう支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	使い慣れた家具や思い出品等持って来て頂いています。又生活歴を一人一人把握し大切に出来る様努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	出来るだけ本人の意志や希望に沿う様努めています。又それぞれの能力が発揮出来る様に援助しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	出来る限りご家族にカンファレンスに参加して頂き、意見が反映出来る様に努力し作成しています。又職員間でも常に一人一人の現状を把握し意見交換しています。	ケアマネージャーは、事前に、本人・家族・職員・看護師等の意見を聴取し、週1回の往診結果等も参考に介護計画を作成し、職員との意見交換を行い、職員全員が責任を持った支援体制となっている。利用者の変化に応じて適宜見直しているが、原則、4ヶ月に1回の見直しとなっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、状態や気付いた事を個別記録し、職員間で情報を共有し日々のケアに反映しています。それをケアプランの見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族の状況、日々の生活の中でその都度発生するニーズに対し、職員間で常に連絡話し合いを行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に、民生委員の方に出席して頂いたり、専門学校学生の研修やボランティア、地域のボランティアの方と協力しながら本人がもてる力を発揮しながら安心して暮らしを楽しむ事を感じられ様支援します。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、ご家族の希望を伺いかかりつけ医を決めて頂いています。又協力H・Pの医師が2週間～3週間に1度往診し、必要に応じ随時受診出来る様支援しています。	入居時に希望医療機関を確認しているが、全利用者が協力医療機関としている。3ユニット専属の看護師がおり、往診時の情報提供や薬の管理を行い、家族等に報告している。対応できない診療科については、原則、家族対応となっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様の日々の健康管理や受診後の対応等、適切な医療を受けられる様支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者様の入院に至るまでの状態、日々の様子等を病院に伝えていきます。又入院中の様子や病院の経過等を伝えてもらえる様関係作りにも努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合について看取りに関する指針を定めて入居時に説明を行い同意を得ています。又地域の関係者と方針を共にし支援する様取り組んでいます。	重度化した場合は、家族等と相談のうえ、入院を前提にしているが、社会環境等も勘案するなか、今後は看取りについても職員と話し合っていく考えである。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当・初期対応の勉強会に参加し、その時訓練も行い身につけるを様、定期的に実施しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	昼間・夜間の避難訓練を年2回行っています。又地域の消防署の指導を受けて協力体制を築いています。 第1回7月12日 第2回11月予定	同一敷地内の介護老人保健施設や訪問看護ステーション等と合同の避難訓練・消火訓練・通報訓練等を、運営推進会議のメンバーも参加して昼間、夜間想定で実施している。法人内職員の協力体制はできているが、今後は地域住民参加が課題となっている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念に基づき一人一人の誇りやプライバシーを損ねない様、思いやりのある態度で接する様職員一同心掛けています。又記録にもインシヤルを使用したり、面会簿も箱と用紙を用意し対応しています。	「上から目線」での言葉かけには常に注意するよう、職員間で話し合われている。特にトイレ使用時などは声かけのタイミングを図ったり、居室に入る時はノックして挨拶するなど、プライバシーの尊重を心がけた細かな支援が行われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の過ごし方やリクレーションの希望、食事の希望を伺いご自分で決められたりと、納得しながら暮らして頂ける様に働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースを大切にし、一人で過ごしたい方、歌を聴きたい方、又T・Vを見たい方、貼り絵がしたい方、散歩をされたりと希望にそって支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分の好みの髪型や外出の際には、服を選ぶお手伝いやお化粧品のお手伝いをさせて頂く等支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の好きな物を伺い季節の食材を取り入れたメニュー作りをしています。又テーブル拭き・下ごしらえ・後方付け等出来る事を職員と一緒に頂き食事を楽しんで食べて頂けるよう支援しています。	利用者の希望を入れながら職員が献立を作り、法人内の管理栄養士に助言を得ている。事業所内で果物や野菜を栽培し、食卓を豊かにしている。利用者は食事の一連の作業に力に応じて参加し、状況の改善が見られる例も出てきている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の食事量や水分量を毎摂取ご記録し、栄養・水分量が確保出来るよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人一人の力に応じて歯磨きの声掛け、見守りを行っています。又夜間義歯を預かり衛生管理の為消毒を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	必要に応じ排泄パターンを把握し、トイレ声掛けを行い排泄の失敗やオムツ使用を減らす様、努力を行い排泄の自立に向けた支援を行っています。	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握しながら声かけや見守りを行い、紙パンツから布パンツに替えられるよう自立支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を多めに摂取して頂き、お茶の嫌いな方には好みの物(冷たい水)をお出ししています。又野菜中心の料理を提供し、日中ラジオ体操・散歩等に参加して頂き運動をして便秘の予防に努めています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴は週3回午後に行える様にしています。入浴日を変えたり入浴の長さや入浴のタイミング等、ご本人の希望を優先し楽しく入浴して頂ける様に支援しています。	入浴は最も大切な楽しみの一つと考え、週3回、午後に交代で入浴支援を行っている。利用者の希望で入浴順序など臨機応変な対応を心がけ、入浴拒否を極力減らす工夫をしている。入浴剤を変えたり柚子を入れたり季節感を取り入れている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活のリズムを大切に休息して頂いたり、夜間不眠があり起きておられる方は、会話対応を行い安心して眠れる様に支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人の内服薬を把握し、変更した際は伝達ノートに記入し職員間で理解する様にしています。又ドクターや看護師より説明を受け症状の変化の確認に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人が出来る事の喜びを味わって、頂ける様朝のモップ掛け、洗濯物たたみ、お盆洗い等役割分担を行い楽しみながらして頂けるに支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の希望を伺い、散歩されたり、季節を感じて頂く様、ドライブに出かけたりご家族との外出等支援しています。	日常的に事業所周辺の敷地内や、近隣の住宅付近を散歩している。また、隣接施設のマイクロを利用して、買い物や外食に出かけている。季節に応じて、各種お花見に出かけたり、家族会の協力を得て1泊旅行を実施し、共に楽しい時間を過ごしている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分で金銭管理ができ、所持を希望される利用者様には外出時、買い物等して頂く様支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族の都合の良い時間を伺いご本人が、かけたいと言われた時はかけ、家族に了承して頂き替わって頂いています。又季節毎のハガキでの挨拶等ご本人がやりとり出来る様支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	見やすい大きさのカレンダー、時計やホールには優しい色合いの写真を飾り、季節感を感じられる飾り付けや植木鉢を置き心地よく過ごして頂ける様に工夫しています。	室内の温度等は管理され、居心地のいい環境のなか、居間兼食堂は3ユニット各々で、行事の写真や貼り絵等工夫した飾りつけやテレビ・ソファ等の配置がされており、寬い空間となっている。トイレや浴室の入り口には大きな表示で確認しやすくなっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールには6人掛けのソファを置き、又壁側には一人用の椅子を置き一人でのんびり過ごしたり、お話を楽しんで頂ける様に工夫しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は長年使い慣れたタンス・長椅子・仏壇等が持ち込まれ、又ご家族の写真や・好み絵・ご自分の作品等飾られ居心地良く過ごせる様にしています。	入り口に何丁目何番等の表示が表札の他に掲示され、個人の住居の雰囲気がつくられている。内部には事業所側の設置したベット・洗面台以外に使い慣れた筆筒や机などが持ち込まれ、ぬいぐるみや写真などが飾られて、個性あふれる居室づくりがされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりや滑り止めを設置したり、トイレや居室にわかりやすく大きい文字を貼り、廊下の壁の色と戸の色を分け安全で自立した生活が送れる様工夫しています。		